

2016 年度社会環境論コース卒業論文発表会

と き： 2017 年 2 月 14 日（火）
と ころ： 発達科学部 2 階大会議室

－ プログラム（予定） －

8 : 50 開会のご挨拶

午前の部

9 : 00～ 第 1 部

日本における学校評価の展開と課題、今後の展望

学問のすゝめ

子育ての社会化における地域の教育力の役割－奈良市立三笠中学校区地域教育協議会を事例に－

「インクルーシブ」理念の展開と限界性－奈良県の事例検討及び試論としての『風景論的再考』から－

日本文化の連続性－和装・宗教・マンガ/アニメの事例から－

多忙化する小学校教員の今後の労働環境の在り方について

10 : 30～10 : 40 休 憩

10 : 40～ 第 2 部

カールシュミットにおける主権主体の変遷

選択の自由についての一考察－今日の「公共性」を担う主体として、アーレントの思想をもとに－

現代日本の公共圏形成を阻む構造－「採用の自由」が「思想・信条の自由」を脅かす事例を素材にして－

民主主義における世論形成の問題と公衆の向上について

人口減少時代における空き家活用の課題と今後の展望

「平和安全法制」から考える日本の民主主義

12 : 10～13 : 20 昼休み

午後の部

13 : 20～ 第 3 部

清酒製造業の抱える経営・地域課題と発展戦略－日本三大酒処に所属する酒蔵への調査を通じて－

フィリピンにおける頭脳流出防止策の展望－民間主導の雇用機会創出の取り組み－

銀行に関する研究・批判～国民生活の向上を目指して～

金沢市における 1990 年代以降の内発的発展の評価

高度経済成長期の虚像と実像～1964 年東京オリンピックと 1970 年大阪万博を事例に～

14 : 35～14 : 45 休 憩

14：45～ 第4部

サードプレイスとしての喫茶店－神戸市水道筋商店街を事例に－

サード・プレイスとしての居酒屋の研究

ご当地ラーメンの成立と展開

何もない広島県福山市の真の発展のあり方とは～福山市の若者の価値観をもとに～

自動運転化と責任問題

大都市圏内駅前再開発における新たな郊外の生産と場所イメージの転換－阪急西宮北口・JR尼崎を事例に－

16：15～16：25 休憩

16：25～ 第5部

社会人の創作活動のあり方に関する研究－音楽活動をする社会人への調査から－

保育所入所待機児童の解決に向けたアプローチ－幼保一元化による受け入れ数の拡大と保育の質的向上－

なぜ夫への恋は終わるのか－妻の観点からみた結婚生活の記録と関係性の変化について－

介護サービス分野における民間営利企業の特徴と可能性

日本とフランスの家族政策～比較史的検討～

17：45～ 講評

18：00 閉会

※プログラムは都合で変更になる可能性があります。予めご了承ください。